

灰色の心:

社会的適合性についての憂鬱

鉄製フィラメントと
亜鉛のサイバネティクスケーブルのワイヤー
金属製の鋳型と
ピンストラップのビジネス・スーツに包まれ
この心は
プルトニウムの灰を浴びせられ、灰色の靄と消えました。

心の中で
私はひらひらと舞うことができる色なら
ピンク、バラ色、深紅色
統一された色調なら
精彩のない単一の色の代わりに
何色にでもなりたいと望んでいるのに:

人との違いや叫びを恐れなくてください
平凡な色やどっちつかずの陰影との一致は
忘れてください!

死の影を帯びた重苦しい灰色
明るく光ることのない灰色
途中で妥協することで
生ずる灰色を
忘れてください

生まれながらの色に
戻してください:
黒か、青か、黄色か
あるいは緑に

すべてに合わせることを
しないでください
なぜなら、それぞれの色を混ぜ合わせても
灰色にしかならないのだから



ティン： 灰色は、非個人の印である。あなたが個人色を抜き、集団に所属した結果、灰色になる。

玲亜： 私たちの魂が、深い部分で浄化剤に出会うと灰色になってしまいうわね。人々は妥協し過ぎると、明瞭さや力、確かさはありませんね。

ティム：（自分の鼻を掻く）別な見方では、灰色は完全に中立で奇妙な柔軟性があります。灰色が他の色に変わるのとはそれほど難しくありません。

玲亜：（がばと）あなたはちゃんと解ってないわね。私たちは中立になることはできません。この世界にいる限り、私たちは必ず一つの色を選択をしなければなりません。それはあなたの中核的な主体性である必要はありませんが、あなたはその選択に対して責任をとるべきです。

- T Newfields (和訳: 吉田典子)

開始: 1997年 静岡市 ★・完成: 2018年 横浜市

